

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
造形表現Ⅲ Artistic Expressionn Ⅲ		2年	前期	金曜日・2時限、3時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (保育士養成課程選択必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
田村 田	非常勤 講師室	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
人間本来持つ創造性を大切に、造形表現を通してそれを子どもに伝えることの出来る豊かな感性を育み、人間形成の基盤を養うことを学ぶ。				
授業の到達目標				
自ら様々な素材を使い、造形に関わる基礎能力を習得する。				
授業の方法				
課題作品の制作、講評会の発表				
学習の成果				
子どもの表現を理解することで、温かい目で子どもの表現を見守ることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 美術教育の意味、授業内容、用具、評価等の説明			
第2回目	幼児期の表現について 幼児期表現体験 色彩による表現			
第3回目	デザイン 直線・曲線による平面構成―①			
第4回目	デザイン 直線・曲線による平面構成―②			
第5回目	様々な素材を組み合わせコラージュ表現―①			
第6回目	様々な素材を組み合わせコラージュ表現―②			

第7回目	様々な素材を組み合わせコラージュ表現―③		
第8回目	作品講評会		
第9回目	ダンボールで作る額縁表現―①		
第10回目	ダンボールで作る額縁表現―②		
第11回目	ダンボールで作る額縁表現―③		
第12回目	ポスター「未来への贈り物」現代社会の問題を話し合い各自テーマを決める―①		
第13回目	ポスター「未来への贈り物」現代社会の問題を話し合い各自テーマを決める―②		
第14回目	ポスター「未来への贈り物」現代社会の問題を話し合い各自テーマを決める―③		
第15回目	作品講評会		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	30%	授業中の制作意欲
	レポート		
	調査報告書		
	小テスト		
	中間・学期末試験		
	発表内容 (態度含む)	70%	課題作品の提出
	その他		
教科書と参考図書			
授業中に指示します			
履修上の心得・ルール			
授業に必要な材料、用具類は各自そろえて自己管理する。課題に対し意欲的に取り組む。			